

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

---2023年11月14日・第98号---

<目次>

●川崎の学校現場からの悲鳴～川崎版「先生のバトン」～

■体制を強化し、高齢者の生活向上に取り組む川崎市の年金者組合を訪問

◆西加瀬プロジェクトへの市民意見を募集中

▲お知らせコーナー

☆11/11～12/7「非平和映像集」平和館

☆11/17 第3回川崎市政の未来をかたるつどい

☆11/18 学習会「多摩川は大丈夫か」part3

☆11/18～11/26 京浜協同劇団公演「獅子」

☆12/1～12/3 劇団わが町「あしものいずみ」2023

☆12/3 子どもの未来をひらく川崎集会

★編集後記

●川崎の学校現場からの悲鳴～川崎版「先生のバトン」～

11月2日に各新聞の川崎版で、川崎市内の学校で起きた衝撃的なニュースが報じられました。「川崎市教育委員会は11月1日、複数の教員へのパワハラを理由に市立夢見ヶ崎小学校の前校長を停職3カ月処分にした。

パワハラを理由とした懲戒処分は市教委で初めてとなる。

前校長は2020年3月以来、3人の教員に対し、校長室で腕をつかんで退室を妨げたり、2時間以上にわたって「授業をさせられない」「ふざけるな」などと強い口調で叱責したりした。

6年生の担任3人全員が9月以降、前校長の言動が原因で病気休暇を取得していた時期もあり、このうち2人は現在も職場復帰できていない。」

川崎の学校現場は、いったいどうなっているのでしょうか。

職員団体の川崎市教職員連絡会が先生たちの間での交流に使っているラインには、現場の先生たちからの悲鳴が次々飛び込んでいます。

・校長が、若い女性教員に結婚と出産は早い方がいいなどセクハラパワハラ発言をしている。

・昨年、年度当初妊娠していることを4月の保護者会で保護者に伝えることが強要された。

- ・今年度出産予定であることを告げたところ「できるだけ、代わりの先生が来ないので2月ごろ産休に入るよう努力？」といわれ驚いた。
- ・同僚がメンタルを病み、年内いっぱい休職しました。今、しっちゃかめっちゃかです。研究校なので、研究授業もどかどか入り、しかも視察もバンバン受け入れている。
- ・夏休みに担任がメンタルを病んで休職に。かわりに配置された方は、3日間勤務の非常勤講師なのに担任を任せ、自律神経失調症になりかけている。
- ・3人の先生が配置されていなくて欠員状態です。ここ最近、忙しく、心労と過労で体調を崩していました。体調を崩しながらも、倒れずに働いている自分がアホらしくなってきました。
- ・A 中学校では、国語科が今1人しかいない。そして、産休明けの先生なので、「時短勤務」。そのため近隣の中学校2校から1名ずつ週1日ずつで、応援授業に来ている。
- ・B 小も11月から産休に入られた教員の代替がおらず、教務が担任しております。もう一方、妊娠中の方もいますが、もちろんその方の代替も見つからないので、級外の教員が担任になる予定です
- ・川崎市教委のデータでは、10月1日現在で、104人の先生が、補充できていません。4月より、43人が増えました。これから、年度末に向けて、不補充は増加を続けることとなります。川崎の学校は、本当に大丈夫なのでしょうか。
- ・1万人以上の賛同者を集めて、市議会に提出した「教職不足の解消で子どもたちが安心して学べることを求める請願」は、8月の文教委員会の審議で「継続」となっています。
- ・川崎市議会は市民の願いに応じて、教育委員会とも共同し速やかに再審議をし、川崎の学校の非常事態を解決するために全力をあげるべきです。

■体制を強化し、高齢者の生活向上に取り組む川崎市の年金者組合を訪問

川崎民主市政の会は、2025年の川崎市長選を視野に、市内の団体訪問を行ない、市政への要求の聞き取りや活動交流、民主市政の会への要望や意見を聞く活動を進めています。

11月11日(土)には、年金者組合川崎支部協議会の事務局会を訪問しました。

川崎支部協は、他団体との幅広い協力・共同を追求し、要求の実現をめざしています。

川崎民主市政をつくる会とも協力・共同していますが、事務局会との懇談は、初めてのことです。メ

ルマガ「新しい川崎」でも、初めての紹介記事となります。

川崎市の年金者組合は、10月21日に、総会を開き、新年度方針を決定し、事務局体制を強化しました。総会では、「はじめに」で以下のように、課題を明らかにしています。

<高齢者の生活は厳しくなるばかりです。>

6月からの年金支給額は、1.9%増えましたが、物価高騰には追いつかず、実質0.6%の減額です。

また、来年度からは、75歳以上4割の方が医療保険料を段階的に引き上げになります。

介護保険制度では、負担増と給付削減提案が目白押しです。こんな政治を一刻も早く変えるために力を尽くします。」

活動報告では、川崎市との関係で、特に次の2点での取り組みに力をいれています。

(1) 高齢者外出支援事業

昨年11月に提出した「請願署名」1518筆を審議もせず、3月議会に廃案にしたことに抗議しました。

「請願を審議抜きに廃案とすることのないよう要請」などと加筆した新署名に取り組んでいます。

(2) 補聴器助成制度

川崎市社会保推進協議会と協力しながら宣伝・署名活動にとり組みました。

補聴器導入助成制度は、意見書採択231, 助成実施が197自治体となっています。

県内では、相模原市が来年度実施を表明しています。

協議会内では、中原支部がアンケートや学習企画をすすめています。

懇談では、まず、川崎民主市政をつくる会(市古)から2年間の福田市政の福祉切り捨ての暴走について項目をあげて批判し、2025年市長選では要求実現での共同を強めたいと報告し、意見交流を行いました。以下、意見要約を紹介。

・福田市長のこの2年間で「よくなったこと」「成果」は何か、見えない。

・昨年10月の新庁舎建設中の火事は、大成建設側の管理不足とのことだが、庁舎建設費の増額に含まれていないのか、知りたい。

・共産党市議団の「臨海部を再エネ基地に」の対案は、政府と川崎・横浜・横須賀の各自治体が進めてる「水素戦略」に対して、アピール力が弱い。練り上げを望む。

・川崎市は、高齢者優良住宅の補助を20年で打ち切るといふ。国は継続を認めているのに、なん

と非情な態度か。継続の署名を集めたい。

初めての訪問と懇談でしたが、年金者組合が幅広い共同を追求し、要求実現をめざしていることに、とても励まされました。

#チェンジ川崎！ #チェンジ川崎市政！

市古ひろかず

◆ 西加瀬プロジェクトへの意見募集が11月20日まで

< 意見書を是非提出してください！ >

西加瀬プロジェクト(大型物流倉庫建設計画)が進められている西加瀬地区において、都市計画案が示されました。

幸、中原の各区役所、図書館等で縦覧可能となっています。

市民及び利害関係人は、縦覧期間中に意見書を提出することができます。

計画案に対する意見書は11月20日まで。

添付先の専用フォームからも提出可能です。

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/26-1-1-1-3-46-1-0-0-0.html>

ぜひ、声を届けてください。まわりの皆さんにも広げてください。

意見書を提出する外部リンクから記入できます(文章の中ほどにあります)。

「反対する10の理由」を添付しました。参考にしてください。

住民の会 広瀬

▲ お知らせコーナー

☆生き合うための「非平和映像集」

11/11～12/7 全て14時より1回

川崎市平和館

入場無料/要申込み・80名まで

[詳細情報](#)

☆第3回川崎市政の未来をかたるつどい

11/17(金)18時半

高津市民館大会議室

入場無料

主催:川崎民主市政をつくる会

044-873-8655

info@newkawasaki.jp

☆学習会「多摩川は大丈夫か」part3

講師:中山幸男さん(元国交相関東地方整備局職員)

11/18(土)10時

中野島会館・和室(044-944-4268)

主催:多摩川と周辺の環境を考える多摩川の会

<https://tamagawanokai.jindofree.com>

☆京浜協同劇団公演「獅子」

「獅子」三好十郎作/演出:護柔一

11/18～11/26:10 ステージ

一般:3000円

学生・障がい者:1500円

要申込み:申込み先

044-511-4951

keihinkyoudougekidan@nifty.com

[詳細情報](#)

☆劇団わが町第13回公演

「あしものいずみ」2023

～陸軍登戸研究所をめぐる物語～

萩坂心一:作

ふじたあさや:潤色・演出

12/1～12/3:5 ステージ

一般:2700 円

学生:2200 円

小学生:1500 円

障がい者:2500 円

窓口:川崎市アートセンター

044-959-2255

問合せ:044-955-0107

[詳細情報](#)

☆子どもの未来をひらく川崎集会

12/3(日)10時～16時

法政第二中・高等学校

講演:中塚史行さん(NPO 法人教育サポートセンター NIRE 代表

安心できる 自信がつく 仲間ができる

～子ども・若者を真ん中にした場をつくる～

資料代:500 円(高校生以下無料)

[詳細情報](#)

★編集後記

大阪府教育委員会が定員割れした3つの工業系高校を募集停止にするとの方針を決めました。

大阪の高校を守る会会長の奥野喜久夫会長は、「ものづくりのまち・大阪で、その担い手を育てる工科高校を定員割れというだけでつぶしていいのか」と訴えます。

定員割れが3年以上続いたら統廃合の対象にするという方針は、維新が主導ですすめてきたもの。

大阪府では少子化による生徒数減に伴い、14年から府立高の再編を進めていて、今回の3校を含め、現在までに16校を閉鎖。

計画では、27年までにあと6校が姿を消すことになるそう。

府民が望んだわけでもない万博に巨大なお金を注ぎ込み、その後はカジノ建設にまたお金を注ぎ込みます。

インフラ整備費はすでに当初額の約3400億円から約7500億円へと大きく膨れ上がっています。

夢州(ゆめしま)という場所は地盤が悪く、カジノ建設にも困難が伴うそう。

お隣の関空では、建設当初から8mも沈下し、今でも毎年10cmの地盤沈下が続いています。

始める前からこんな調子ですから、始まれば更に膨れ上がることは目に見えています。

そして、今、大阪府は破綻寸前の財政赤字に陥っています。

市民の納めた税金を市民の為には使わず大企業にジャブジャブ注ぎ込んでいくやり方は川崎市も同じ。

維新勢力の伸長めざましいですが、維新が何をやり、その結果市民生活がどれほど犠牲にされているか。

分かりやすく市民に伝えたいですね。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/66iX2IBcWlqm?mail=akagixxx%40yahoo.co.jp

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp